

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～20℃台を示し、平年並み～やや高め水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり56kgの水揚げで、前週の35%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり4.6トンの水揚げで、前週の74%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり21kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり824kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり850kgの水揚げ。北松生月地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり180kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり174kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり142kgの水揚げで、前週の2.8倍（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/19～4/24）6日間の沖合イカ釣は、船凍船は切揚。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖にかけて出漁した。境港基地の小型イカ釣船 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）